

平成29年度第3回嘉麻市立図書館協議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成29年度第3回嘉麻市立図書館協議会
2. 開催日時 平成30年3月16日(金)午前10時00分～午後10時55分
3. 開催場所 夢サイトかほ 大研修室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者
 - (1) 委員
東野善男委員・添田民子委員・坂口清春委員
和田秀美委員・佐藤ひとみ委員・古賀稲子委員
(欠席)・・・ 門谷義人委員・田中早苗委員・甲斐治夫委員・石井一男委員
 - (2) 執行機関
生涯学習課
・課長 長岡和広・課長補佐 田原薫(図書館長)
・図書館係 藤原千晶(図書司書)・図書館係 安藤かよ子(臨時職員)
6. 傍聴人数 0人
7. 議題
 - (報告)
 - 1) 平成29年度嘉麻市立図書館事業総括について
 - 2) 平成30年度嘉麻市立図書館事業計画(案)について
 - (その他)
 - 1) 図書館の相互利用の充実について
8. 審議の内容
 - 会議録の確認者の指名 → 添田副会長に決定
 - 報告
 - 1) 平成29年度嘉麻市立図書館事業総括について
資料(平成29年度嘉麻市立図書館事業総括表)に基づき事務局から説明。
→ 原案のとおり承認。

【主な質疑及び意見】

・数値を入れて見やすくなっているが、資料3ページのうちどく事業の前年度参加者数の記載がない。同じく4頁の大人のためのおはなし会についても前年度実績が記載されていないため評価できない。また、5頁の図書ボランティア養成講座についても、開催回数も大切であるが、評価する資料としては、志望者数、参加者数、平均参加率が必要である。その結果をもって、成功なのかどうか、来年度の事業として実施するの

かの判断をしなければならない。資料の中に数値が入って昨年より見やすくなっているのだからわかりやすくなっていたが、評価するために欲しい数字が入っていない箇所が何か所あった。

⇒指標につきまして、可能な部分については記載したところではあるが、ご指摘のボランティア養成のスキルアップ講座では、参加者数の記載が漏れていた。今後こういうことのない様に、資料作成には十分注意していきたい。

・2点目は、学校図書館の司書と公立図書館の司書の連携のところで、連携を図るために学校は校長が窓口にならないとどうにもならない。それなのに、この協議会を小、中学校の校長先生、学校代表が卒業式で来れない日に開催すること自体おかしい。また、今回の参加も6名しかなく半数を少し超えたくらいで、果たして会として成立するといえるのか。日程調整がなっていない。事務局として反省して欲しい。課題の中では学校と公共図書館との連携強化を図らなければならないとあるが、具体的に何をすべきか、校長が参加されるのが第一である。校長が参加されるためにどうすべきかということについて、今後十分考えて欲しい。

⇒今回の日程調整については事務局の配慮不足によるものであり、大変申し訳なく思っている。学校との連携を強化するためには、小・中学校の校長会の代表に参加して頂くことが必要だと考えているので、今後こういうことのないよう十分注意していきたい。

・図書館では様々な催しものがあり、PRも工夫してあるように見受けられるが、工夫の必要性を課題として挙げていたが、今までどのような問題があって、それに向けての今後の取組についてはどう考えているのか。

⇒現在、市では回覧版を制限し広報にまとめるという方針がある。今年度の広報については、図書館イベントについて紙面の配慮をしてもらえているので、少しは見やすくなったのではないかと思っている。他には、市や図書館のホームページやフェイスブックに記事を挙げる等、事前周知や、実際に参加された方の状況とかを写真をつけて掲載している。一番効果的なのは、窓口での司書の声かけであり、細やかに声かけしている。4館すべてに全館でのイベントチラシを配置している。特に自館のものについては力を入れて、声かけをしている。一人でも、二人でも参加者が増えるように取り組みをしている。幸い複合施設も多く、公民館にもポスター掲示するなどしている。図書館に興味を示されない方に対するアプローチが難しく、他の自治体の状況も参考にしながら、検討していかなければと思っている。

2) 平成30年度嘉麻市立図書館事業計画(案)について

資料(平成30年度嘉麻市立図書館事業計画(案))に基づき事務局から説明。

→ 原案のとおり承認。

【主な質疑及び意見】

・4月からの体制について説明してほしい。

⇒5名の退職希望者が出ている。理由は転職や結婚など様々である。司書の雇用形態が嘱託職員なので、雇用の継続確保が難しい状態である。現在5名の代わりの職員が決まっていない状況であり、退職する司書が長期にわたり勤務していたこともあり、新年度の運営が円滑に進むのか心配している。まずは窓口の対応業務を充実させて、体制が整った状況でおはなし会等の事業に取り掛かるということに方針を決めている。大学、県立図書館等に情報発信しており、ハローワークにも求人を出している。数人の応募があるので、来週面接をして決めようと思っている。応募者が県内でも遠方であったり、県外の方だったりするので、雇用につながるか不安がある。司書の補充ができない場合は、司書資格のない人にカウンター業務だけを担っていただく等の手立てをしないと窓口が開けられない状況になっている。この状況の中おはなし会等の事業の実施は難しいので、4月のおはなし会は見送りとさせて頂いている。

○その他

1) 図書館の相互利用の充実について

資料3（図書館の相互利用の充実について）に基づき事務局から説明。

→ 原案のとおり承認。

【説明要旨】

・定住自立圏構想の一つの施策として、飯塚市を中心として嘉麻市、桂川町において図書館の広域利用を進めていこうとする取組である。今後事務方レベルで様々な課題について協議し実現に向けて調整中である。市民にとっては飯塚市、嘉麻市、桂川町どこの図書館であっても貸し出しが受けられるサービスになるので、市民サービスの向上につながる取組だと思っている。あまり経費がかけられないので、具体的には、市民がそれぞれの自治体の図書館の利用者カードを複数持って、サービスの提供を受けられる形で進めることになると思う。開始目標は平成30年10月となっているので、そこに向けて協議を行うこととしている。

【主な質疑及び意見】

・なし

9. 配布資料

- ・平成29年度第3回嘉麻市立図書館協議会次第
- ・資料1（平成29年度嘉麻市立図書館事業総括表）
- ・資料2（平成30年度嘉麻市立図書館事業計画表（案））
- ・資料3（図書館の相互利用の充実について）

て)

上記に相違ないことを確認する。

平成30年4月12日

会議録確認者 添田 民子